

柘植地域

まちづくりだより

第222号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

〒五二九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日 二〇一八(平成三十)年十月十五日(月)

柘植地域俳句コーナー

冬枯へ

鳥啼き交はす

些中庵

中森三津子

知っていますか?
カローリング&ヘルスバレー

スポーツ実行委員会

10月7日(土)午後、柘植中学校体育館で、柘植地域スポーツ大会が開催されました。(6区より19名参加)

中川実行委員長(市スポーツ推進委員)ならびに半田まちづくり協議会会長のあいさつの後、みんなで準備体操を行い身体をほぐしました。

第1種目は、カローリング(フロアカーリング)を4チーム対抗で実施、ほとんどの参加者は投げ方やストロンの距離感に手こずっていました。



試合目をする頃には、3コートもつかんで、なかなかのハイレベルな戦いが繰り広げられていました。ルールも意外と面白く作られていて、大逆転などもできたりして、大いにみんなが沸きました。



ごろごろごろ

休憩後、第2種目は、新種目「ヘルスバレーボール」。2チームに別れて試合をしました。大きなラグビーボール風のボールを落とさずに相手陣地へアタック。みんな笑いと汗でハッスル。柘植地域の仲間づくりを進めることができました。

汗と笑いで区を越えたなかまづくりを...



柘植地域合同防災訓練

自主防災実行委員会

10月7日(日)午前、小雨の降る中でしたが、予定どおり「合同防災訓練」を実施することができました。

8時の行政無線による避難指示に従い、各区単位に安否確認を開始。9時までに12区すべての第一報を災害対策本部が受けました。その結果、安否不明が約1割ありましたが、初動段階としては妥当な数字でした。

その後、地域内4つの指定避難所開設を初動リーダー中心に実施、避難誘導・広報も消防団との連携した動きで実施することができました。

前川区は、**いがまち人権センター避難所へ**



いがまち人権センター

これはこれまで前川区は宅地が分散しているため、区内で小・中・人権センターの3か所に分散避難することになった。難しかったが、人権センターに力所に区民が集まり安否確認などを組織的に取り組みました。

小杉区では

車イスを使った避難も...

小杉区では、車イスを使って要援護者とともに避難する取り組みが行われました。避難所である小杉区高齢者等活性化センターまでは、場所によって起伏の大きい経路もありますので、今回の訓練で避難方法のありようを実感して理解することができました。



小杉区訓練の様子



小杉区高齢者等活性化センター

初動リーダーや避難者の方、

みんなで避難所開設を!

小学校には岡鼻・小林・柘植青葉台・上町の4区が、中学校には下町・倉部・野村・中柘植・山出・上村の6区が避難します。複数区が集まれば様々な課題も起こりがち。今回は、集まってきた避難者やみなんで協力して避難所を開設する意識を高め合いました。

市民センターは、

地域の災害対策本部に...



ち上げることになりました。

今回の訓練を視察するために、伊賀市総合危機管理課や県の防災センターからも職員が様子を見に来てくださいました。また、消防団から西野さん松山さんも連携訓練として対策本部へ駆けつけられました。消防団各班では住民への広報活動や避難誘導などに重きを置き取り組んでいた。ことができました。

柘植地域の地図をテーブルに広げ、午前8時以降、各区の安否確認情報を集約し、伊賀支所と情報共有を

しました。



情報収集@市民センター

小林・横地野く倉部・余野公園を結ぶ市道を守るために...

10月2日(火)午後、伊賀市道路河川課、伊賀支所振興課、小林区長、太陽光パネル設置業者、まち協の約10名で、市道の損傷状況の現地確認会を実施しました。

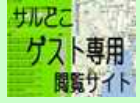


小林区・倉部区ならびにまち協が協力して、進めていく予定です。

今後、地域の声を最優先に、関係者との話し合いを



サルどこネットに、アクセスしよう!



柘植まち協のリンク、または下記QRコードからさるどこネットトップページにつながります。画面左にある「ゲスト専用閲覧サイト」に入って、「検索」を選択し生き物名(ホンドザル)→(三重県)→(伊賀地域)→(伊賀C)で調べてください。

※ただし、情報は当日のみのため、表示の無い場合もあります。

いまこそ、

サル追い払いの好機

生活環境部会(鳥獣害対策班)

10月5日(金)午後、兵庫県立大学の山端さん、三重県農業研究所の鬼頭さん、NPOサるどこネットの六波羅さん、伊賀市農林振興課の大鷲さんを招き、最近柘植地域(小林区・倉部区)に定住している十数頭のサル追い払い方法について検討しました。



最初に柘植地区市民センターで、伊賀のサル群(「伊賀C」約14匹)の誘導域、固体数管理状況等をおさらいしました。平成29年1月〜2月に実施した麻酔銃による選択的捕獲実施により、現在は次の表のような個体数です。

	オス	メス	不明
6歳以上	1	5	0
4〜5歳	2	1	0
1〜3歳			3
0歳			2
合計	14		

また、田畑への出没率も平成25年の当時90%あったのが、現在では10%となつています。いまこそ、追いを徹底し、サル問題を完結させる時局と考えます。

研修後半は、サルどこネットの情報



「ページ左上参照」をふまえ、現地(倉部区)の墓地裏の山へ向かいました。GPS発信機を付けたサルをアンテナで受信し、方向と距離を推定、5連発煙火を発射し、追い払いの実習を行いました。

現在、柘植地域では区長さんを通じて、全住民のみならず、に、サル・イノシシ・シカあるいはアライグマ等有害獣の記録をお願いしています。被害の記録を残すことで、後々の分析にも役立つと考えています。11月に入りと猟期にもなります。11月に入りと猟期にもなります。11月に入りと猟期にもなります。

柘植保育園運動会

園児81名(年長18名)が通う柘植保育園。3回目となった運動会は、9月29日(土)午前、雨のため柘植中学校の体育館で開催されました。



ひろげよう、まんまるえがおで、はっぴーす!



屋内での運動会となりましたが、子どもも保護者も参加者みんなで楽しく元気に活動できました。

平成三十年度「しぐれ忌」のご案内



山出区では、芭蕉さんの遺徳を偲び、毎年十一月十二日に「しぐれ忌」を開催し、その偉業を顕彰しています。本年度も、昨年同様「しぐれ忌」案内用の幟を追加作成し、会場近辺に立てる予定です。

開催日時

平成三十年十一月十二日(月)午前九時半

会場

萬壽寺(伊賀市柘植町山出)

コーラス「ユー」の方々による芭蕉讃歌の合唱、開式のことば、顕彰のことば、法要、墓参、献花と続きます。(公益財団法人芭蕉翁顕彰会主催)

午前十時二十分からは山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会主催による記念講演を開催します。

演題「芭蕉の魅力」

講師 高井悠子さん(芭蕉翁記念館学芸員)

※閉会は午前十一時三十五分の予定です。

本堂では、柘植小学校児童の「芭蕉さんへの絵手紙」、「手向句集」の展示、本堂桃青殿では「芭蕉翁献詠俳句」の特選句の掲示。

境内では、山出区有志による「菊花・寄せ植え展」開催、ご来場者には、山出区むらづくり推進委員の女性等による甘酒、お茶のもてなしもあります。俳句募集もしておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。

山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会

☆★事務局だより☆☆

▼旧柘植保育園をまちづくり協議会が伊賀市から無償貸与を受けて10月末でまもなく丸1年。

まち協が使用許可を出している2団体も順調に運営していたらいます。▼さる2日、その

一つ、「NPO法人ふれあいステーション都美恵」の運営推進会議があり参加しました。地域密着型通所介護施設として、半年に一度、会議を開催することが規定されているとのこと。現在、利用者の登録は4名、稼働率は93%という好成绩だそうです。今後とも経営の安定と成果を挙げるために看護師を募集しているとのこと。お問い合わせは☎45-3052へ。

▼ちなみにステーション都美恵のホームページ(tsumie.com)もご覧になつてください。QRコードから入るのが便利です。▼スマホ

も普及してきて、ますます情報化が進むでしょう。地域の活動もそうした流れの中で取り組みたいもの

です。柘植まち協HPは、上のQRコードでアクセス！(西田方計)



http://tsuge-jpn.org
http://tsuge-jpn.org
http://tsuge-jpn.org